

アメリカ合衆国 ジョー・バイデン大統領 閣下

抗 議 書

貴国が昨年6月22日と9月16日にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施されたことは、ロシアによるウクライナ侵攻により、軍事力によって抑え込むしかないとの考えが勢いを増す中で、貴国が核戦力の近代化を推進しようとする強い意志を持っていることを表明することになる臨界前核実験を行ったことは、被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く行為として、断じて許すことはできず、嚴重に抗議するものである。

わが国は、世界で唯一の被爆国であり、広島・長崎の悲劇を再び繰り返してはいけないとの強い決意の下、非核三原則を堅持している。また三田市においては、1989年3月28日に、日本国憲法の平和精神に基づき、恐るべき核兵器の廃絶を願い、永遠の平和社会を築くことを誓って「非核平和都市宣言」を行っており、今日まで積極的に非核平和行政の推進を図ってきたところである。

私たちは、すべての核保有国が今後一切の核実験を行わず、一日も早く地球上から核兵器が廃絶されることを求めるものである。

ここに、三田市民の代表として抗議するとともに、貴国が核実験を二度と実施されないこと、さらには核を廃絶されることを強く求める。

2022年4月15日

兵庫県三田市長 森 哲男